2　目 標 達 成 計 画

事業所名　グループホームなの花
作成日：　平成30年11月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		ヒヤリハットや事故報告はあるが、再発防止の検討会が少ない為、危機感を持ち危険予知能力を養う必要がある。	事故、急変時における適切な対応を全職員が周知する。	○緊急時の対応についてマニュアルの再確認 ・ヒヤリハットや事故報告の定期的な検討会 ・緊急時の事故や急変に対するシミュレーションを行い、定期的な勉強会を行う	12　か月
2		利用者は近隣の外出が多く、生活に慣れてきている為、気分転換や開放感が薄れがちである。	遠出の外出で生活に張り合いを持ち、ご家族と楽しむ機会の提供。 ご家族には施設での生活を理解して頂くため、家族と共に過ごせる行事の計画。	○行事への積極的な呼びかけとご家族も一役を担っていただき、共に参加協力を頂く ・四季に合わせた外出、ドライブ、外食、温泉等 ・ご家族のリクエストによる行事の企画	12　か月
3		「もっと役に立ちたい」と、日々の生活に張りが欲しいと思っている利用者の思いがある。	達成感、満足感も持ち、充実した日常生活に近づける。	○利用者の状況に合わせたお手伝いの役割分担 ・食器拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干し、手すりの掃除、居室のモップ掛け、布巾作り、おやつの買い出し、おやつ作り、花の水やり、必要な食材の買い出し、その他	12　か月
4		すぐそばに商店街があるが、地域の住人の高齢化も進んでいる。地域の交流が持ちやすい活動センター、幼稚園等の協力を得て、若い世代との協力体制が必要である。	地域との信頼性の構築。近隣住人、若い世代等、広い範囲との良好な構築と協力体制を図る。	○近隣住人への挨拶を行い、園の行事への招待 ・町内会活動への積極的な参加 ・幼稚園児を行事へ招待するなど、交流を持つ ・活動センター、サン・ライフ等、サークル活動発表の場を提供	12　か月